

7月16日～31日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
06/07/17 (月)	東京は休場で高い開散のなか円が弱含み、円キャリートレードと見られる動きが断続的に出ていたとの指摘。欧米はドル全面高。地政学リスクの高まりを受けたドル買いが優勢で対円などでは高値引け。	・イスラエルが条件次第で停戦の可能性、との一部報道あり ・7月のNY連銀製造業景気指数15.6、6月の米鉱工業生産0.8%、同設備稼働率82.4	・G8議長声明「G8は高水準で不安定なエネルギー価格・世界の不均衡・保護主義の拡大を議論」 ・露大統領「北朝鮮の6ヶ国協議への早期復帰を望む」	ドル円	ユーロ円	24H
				116.30	146.92	寄付
				116.16	146.50	安値
				117.29	147.15	高値
06/07/18 (火)	東京は早朝から輸出売りが優勢でドルは冴えない。クロスユーロ債の償還にともなう円買いが散見された。欧米はZEW指数の悪化もありユーロ売りでスタート。その後は良好な米経済指標もあり徐々にドル買いへ。	・5月の第三次産業活動指数0.5% ・第2四半期中国GDP11.3% ・7月の独ZEW景気期待指数15.1 ・6月の米PPIは0.5%、5月の対米証券投資696億ドルの買い越し、7月の住宅市場指数39	・中国国家統計局「人民元の切り上げはない」	ドル円	ユーロ円	24H
				116.95	146.44	寄付
				116.70	146.25	安値
				117.59	146.97	高値
06/07/19 (水)	東京は夜のFRB議長証言を控え利食い売り先行。ただし117円台は割り込まずドル底堅い。欧米はCPIのコア指数が大幅な伸びを示したためドル買い進むもFRB議長発言で基調一変、急反落。	・7/5-6の英中銀議事録「7対0で金利据え置き決定」 ・月例経済報告から5年振りに「デフレ」の文言が消える ・6月の米CPIは0.2%、同住宅着工件数185万件、同建設許可186.2万件	・FRB議長「米景気の減速は進行中」 ・カナダ中銀総裁「ドルの急激な下落がカナダ経済を圧迫」	ドル円	ユーロ円	24H
				117.33	146.66	寄付
				116.65	146.33	安値
				117.88	147.29	高値
06/07/20 (木)	東京は116円台後半の狭いレンジ内で揉み合い、新規材料も乏しく、方向性定まらず。欧米は円キャリートレード再開の噂などから円が総じて冴えない。レンジを抜けるまでには至らないも安値引け。	・6月の米景気先行指数0.1%、7月のFF連銀景気指数6.0 ・トルコが政策金利を25BP引上げ ・FRBが10月のFOMCは24-25日の2日間に延長、07年度は4回2日間の会合を行う、と発表	・FRB議長「引き締めが過剰か過小になる可能性がある」 ・米FOMC議事録「利上げは全員一致で決定」	ドル円	ユーロ円	24H
				116.80	147.13	寄付
				116.55	146.98	安値
				117.07	147.88	高値
06/07/21 (金)	東京は人民元切り上げの噂などを材料に円が高値。ただ116円は割り込めず。欧米は当初円が続伸、ドル/円は一時115円台へ。しかし押し目買いもあり引け値は116円台。	・人民元切り上げ1周年で追加切り上げの噂、19時に声明発表との話も、結果人民銀行が預金準備率の50BP引上げを発表 ・5月の全産業活動指数0.2% ・第2四半期英GDP0.8%	・武藤日銀副総裁「金利水準は調整のためゆっくり進める」 ・レバノン国防相「イスラエルが地上戦を展開するならレバノン軍も応戦する」	ドル円	ユーロ円	24H
				116.95	147.74	寄付
				115.83	146.86	安値
				117.00	147.82	高値
06/07/24 (月)	東京は仲値不足などの噂などからドルが高値。ドルは対ユーロなどでも強含みの推移となった。欧米はドル続伸、地政学リスクの高まりを受けたドルへの資金シフト感根強い。	・ハンガリーが政策金利を50BP引上げ ・イスラエルが政策金利を50BP引上げ	・ライス米務長官「我々は速やかな戦闘終了を望んでいる」	ドル円	ユーロ円	24H
				116.28	147.64	寄付
				116.28	147.20	安値
				116.94	147.64	高値
06/07/25 (火)	東京は仲値不足からドル高でスタートしたが中国国家統計局の話を受けトレンドが反転した。欧米はドル堅調裡、米追加利上げ思惑などをバックにしたドル買い優勢。対円では終盤117円台へ。	・インドが政策金利を25BP引上げ ・米著名情報社が8月の米利上げを提唱した、との噂あり ・7月の米消費者信頼感指数106.5、6月の米中古住宅販売件数662万件	・中国国家统计局「外準の分散を加速するべき」 ・サウジ国王「中東戦争もありうる」 ・ライス米務長官「継続した中東平和を求める」	ドル円	ユーロ円	24H
				116.78	147.43	寄付
				116.53	147.32	安値
				117.40	147.77	高値
06/07/26 (水)	東京は利食いと思しきドル売りに対し、ユーロでドルが冴えない。須田発言も円買いを後押ししか。欧米は米地区連銀報告で弱気コメントが発せられたことを嫌気しドル売り進む。安値引け。	・6月の貿易黒字8079億円 ・7月の独IFO景況指数105.6 ・米地区連銀経済報告「経済成長拡大ペースは減速」 ・シューマー、グラムの上院議員が「中国制裁案の決議を9月30日に設定」	・須田日銀審議委員「年内の利上げないと決め付けるのは良くない」 ・余人民銀金融政策委員「中国は人民元上昇を容認する余地がある」	ドル円	ユーロ円	24H
				117.12	147.34	寄付
				116.18	146.79	安値
				117.19	147.87	高値
06/07/27 (木)	東京はドル弱含み。対円では115円台まで軟落も、ただ輸入の買いも厚く、一方で下げ渋りの感あり。欧米はドルが続落。発表された米経済指標の悪化もあり米利上げ見通しが急後退、ドル売りに繋がった。	・NZが政策金利を据え置き ・6月の米耐久財受注3.1%、同新規住宅販売件数113.1万件	・米大統領「レバノンでの戦闘、持続可能な停戦を望む」	ドル円	ユーロ円	24H
				116.35	147.88	寄付
				115.30	146.89	安値
				116.43	147.98	高値
06/07/28 (金)	東京は人民元に絡む噂などから依然として円買い意欲強い。ただ115円は割れず。欧米は予想を下回る米GDPなどを嫌気したドル売り目立つ。またIMFの報告もドル売り・円買いを後押し。	・中国人民銀が緊急会見開催の噂 ・6月の失業率4.2% ・第2四半期GDP速報値2.5%、同コアPCE価格指数2.9%、同雇用コスト指数0.9%、7月のミシガン大消費者信頼感指数84.7	・小泉首相「デフレ脱却の兆しが出てきた」 ・IMF「日本は円の上昇に対応可能」	ドル円	ユーロ円	24H
				115.87	147.00	寄付
				114.61	146.13	安値
				115.99	147.10	高値
06/07/31 (月)	東京はレンジ内でドル弱保ち合い、114円の防戦買いなども散見され、ドルは下げ渋り。欧米は米利上げの動向を睨みつつ右往左往。注目の米要人発言は両サイドとも観測され材料にならず。	・6月の鉱工業生産1.9% ・7月の日銀介入はゼロ ・5月のカナダGDP±0.0% ・7月のシカゴ購買部協会景気指数57.9	・SL連銀総裁「8月の利上げの必要性は五分五分だと思う」 ・SF連銀総裁「政策金利はほぼ適切水準」	ドル円	ユーロ円	24H
				114.67	146.46	寄付
				114.19	145.74	安値
				114.84	146.60	高値
				114.66	146.36	終値

* 製作・著作；「FXニュースレター」

URL； <http://www.fx-newsletter.com/>